

「平成 30 年北海道胆振東部地震調査研究報告会」を開催

～北海道の地震災害の軽減に向けて～

【概要】

北海道大学・北海学園大学・室蘭工業大学・北見工業大学・北海道立総合研究機構等，全国の関係機関が協力し，文部科学省科学研究費助成事業の助成を受け進めてきた「平成 30 年北海道胆振東部地震とその災害に関する総合調査」研究班による調査研究報告会を，苫小牧市民会館で行います。一般の方の参加を歓迎します。

【趣旨】

平成 30 年北海道胆振東部地震災害に関する研究成果を，一般市民にもわかりやすい形で報告します。地震が発生した場所の特徴，震度 7 に達した強い揺れの原因，地盤や建築物の被害，大きな被害を出した同時多発斜面崩壊のメカニズム，人的被害の様相やブラックアウトを含めた社会への影響などについて，最新の研究成果を発表します。今回の地震災害から得られた教訓を活かし，今後北海道で予想される地震災害の被害軽減に向けて，どのような取り組みが必要なのかについても議論します。

【日 程】 平成 31 年 3 月 17 日（日）12：30～16：30（開場 11：30）

【場 所】 苫小牧市民会館小ホール（苫小牧市旭町 3 丁目 2 番 2 号）

JR 苫小牧駅から徒歩約 15 分

【主 催】 文部科学省科学研究費助成事業「平成 30 年北海道胆振東部地震とその災害に関する総合調査」研究班

【対 象】 一般市民・研究者・技術者・行政関係者・報道関係者など，どなたでも参加可能

【参加費】 無料

【言語】 日本語

【申込方法】 当日，直接会場にお越しください。事前申込不要。

【アクセス】



●徒歩 JR 苫小牧駅～会場 … 約 15 分

●J R JR 南千歳駅～JR 苫小牧駅 … 約 20 分

●バス 新千歳空港バスターミナル～JR 苫小牧駅 … 約 65 分

※駐車台数には限りがございますので公共交通機関などをご利用ください。

※路上駐車は固くお断りいたします。

【プログラム】

開会の挨拶 高橋浩晃（「平成30年北海道胆振東部地震とその災害に関する総合調査」研究班代表、北海道大学大学院理学研究院）

1. 地震活動と震源域の地下構造（12：40～13：10）

「胆振東部地震震源域周辺の地震活動」 勝俣 啓（北海道大学大学院理学研究院）
「胆振東部地震発生域の地下構造」 橋本武志（北海道大学大学院理学研究院）

2. 強い揺れの発生原因と地盤建物被害（13：10～13：55）

「胆振東部地震の強震動特性」 高井伸雄（北海道大学大学院工学研究院）
「胆振東部地震による液状化被害」 渡部要一（北海道大学大学院工学研究院）
「胆振東部地震による建物被害」 高瀬裕也（室蘭工業大学大学院工学研究科）

3. 同時多発斜面崩壊の全体像とメカニズム（14：10～14：55）

「斜面崩壊の発生場と分布特性」 石丸 聡（北海道立総合研究機構地質研究所）
「斜面崩壊による災害」 小山内信智（北海道大学大学院農学研究院）
「膨大な数の斜面崩壊が密集して発生した理由」 千木良雅弘（京都大学防災研究所）

4. 人的被害の特徴とブラックアウトの社会的影響（14：55～15：55）

「建物の揺れと人的被害の様相」 岡田成幸（北海道大学大学院工学研究院）
「停電とそのインフラへの影響」 能島暢呂（岐阜大学工学部）
「室蘭市民の防災・減災行動」 有村幹治（室蘭工業大学大学院工学研究科）
「胆振東部地震による企業の経済活動への影響」 梶谷義雄（香川大学創造工学部）

5. 総合討論－今回の地震の教訓と今後の地震防災対策に向けて（15：55～16：15）

閉会の挨拶 山田 孝（北海道大学突発災害防災・減災プロジェクト拠点長）

お問い合わせ先

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 地震火山地域防災情報支援室

T E L 011-706-3591 メール isv-web@mail.sci.hokudai.ac.jp

U R L <http://www.sci.hokudai.ac.jp/isv/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

30 3 | 6



T 31 3 12 6 30

